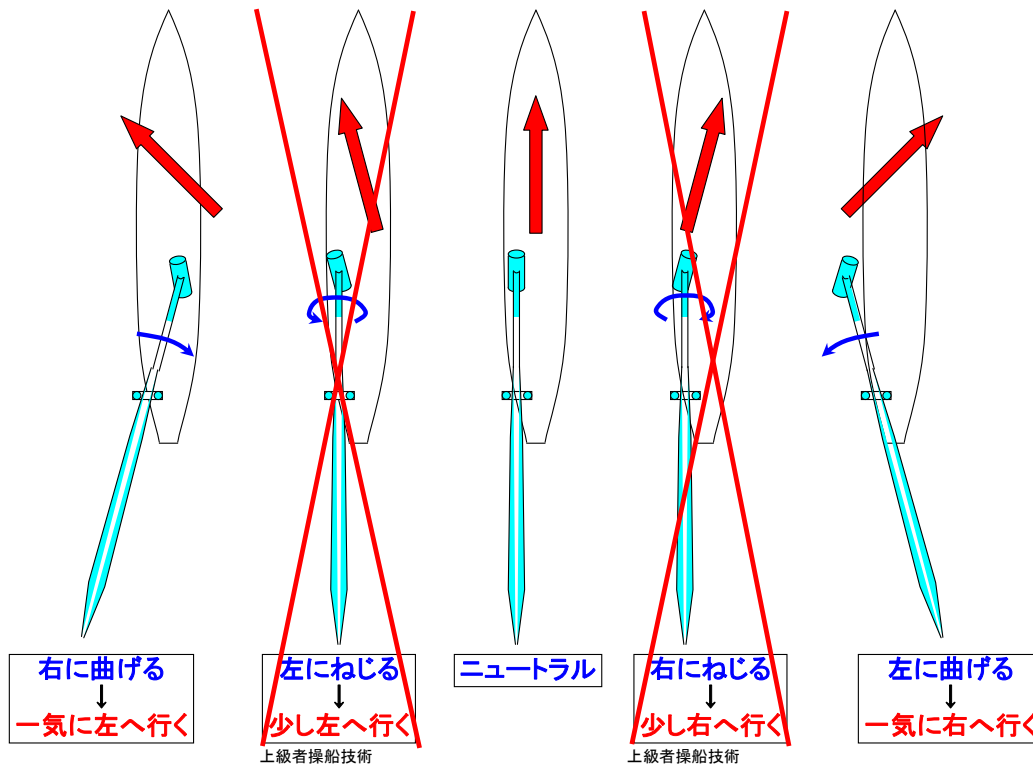


どう操作するとどっちへ行くのか⇒まずこれを体で覚える。

The fullcount
Nishimura



操船のコツ

①ちよつとでも曲がったらすぐ直す。

- ・氷川丸のコース旗に狙いを定め、ほんの数度でも曲がったら“舵ねじり”で修正する。
- ・真っ直ぐの状態が、一番舵が効く。すなわち、修正操作は真っ直ぐの直前くらいで止めるのがよい。真っ直ぐになるまで修正操作を残すと、過修正になる。
- ・見てわかるくらい曲がったら、船は横腹に水を受けて一気に真横まで曲がってしまう。曲がり始めた船を“舵曲げ”の力で直すのは大変！⇒過修正に気をつけて直す。

②不要なら舵は水に入れない

- ・真っ直ぐ走っているなら、舵は水から揚げ、余計なことしない。

③漕ぎ手の左右アンバランスにも対処！

- ・走り出すと、左右の力がアンバランスなために曲がることもある。これは“舵ねじりっぱなし”で対応しましょう。

④疲労やピッチ乱れによる突然の曲がりにも対処！

- ・真っ直ぐ走っているのに、舵は何もしていないのに、突然曲がる。これは疲労やピッチ乱れ、突然漕ぐの止めちゃう〇〇さん、などにより発生。冷静に“舵ねじり”で対応しましょう。大きく曲がったら、瞬間的に“舵曲げ”で直しましょう。

⑤その他

- ・“舵曲げ”は、基本的には“荒療治”です。経験的には、疾走中は長くて数秒しか使いません。10秒も入れたら船が正対向くんじゃなかな・というくらい効きが強烈です。これがパニックの素になるので気をつけて下さいね

舵取りは、チームを負けさせることは出来てしまいますが
勝たせることは出来ません。せめて声でリードしましょう～！！